



問 なかなか進まない八丁牟田駅前開発について問う
答 八丁牟田駅前基本計画をもとに地元関係者との協議を行う



八丁牟田駅前

問

八丁牟田駅前開発について、平成21年度当初予算では、駅前開発の取り組みの顔が見えないが、町長の所見は。

町長 昨年の3月議会において、田中議員よりの一般質問に対し、現在までの経緯を説明する中で、西鉄天神大牟田線の輸送人員が、平成4年のピーク時の75%

問

ふるさと納税制度の取り組み及び申込状況について伺う。

町長 大木町出身の方で、「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」へ貢献したいという気持ちを持つ方が、全国におられると思う。その窓口として、大木町のホームページに『ふるさと大木を応援しませんか』という『ふるさと応援サイト（ふるさと納税制度）』を掲載している。

問

定額給付金の交付時期について伺う。

町長 補正予算提案の中では、5月中旬を予定していると担当課長が説明していた。

これは、大木町商工会が実施される大木町地域振興事業補助金を活用した「割増し付き商品券」の発行と合わせて定額給付金を交付した方が、より地域の活性化に効果があると考え、5月中旬以降の交付の予定としていた。

一方で、八丁牟田駅は町の顔でもあり、通学・通勤の利用者の皆さんが快適に駅を利用できるように整備を早期に進めることが必要であると考えており、平成20年度に八丁牟田駅前基本計画策定に着手している。今後、当該基本計画図が出来上がっているの、それをたたき台に地元関係者の皆様と協議を行っていきたい。

現在、町外におられる知人や親類などに対して、ふるさと納税制度をPRして、大木町に寄付を募るところ員にお願いしているところである。寄付の状況は、21年2月末現在で、13件、36万3千円の寄付があっている。議員の皆様にも是非、町外におられる知人・親類の方などに、ふるさと納税制度のPR等をよろしくお願います。

このような状況も考え、商工会とも協議し、商品券発行日が5月1日と決定されたことから4月下旬から随時定額給付金を交付するよう、準備を進めているところである。